いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

報道は迅速 正確
本紙はいつでも自由に購讀出來ます お申込みは本社又は販賣店へ
いわき民報社

鹽屋崎沖で太陽丸沈沒

十四名全く絶望

救助船空しく歸る

江名町中の作吉田好吉氏所有底曳船第三太陽丸（四四・四九トン）は十五日午前十一時半ごろ十四名の乘組員を乘せたまゝ鹽屋崎東微北二十マイルの海上で沈沒した―縣水産試驗場無線局に入った無電によると同船は十五日午前十一時十五分「今四十五度に傾斜、船はスクリュウに網をからめ、このままなれば沈む狀態、乘組員待避準備中、視界惡く山見えず他船なし」と悲壯な無電を送り續いて同十一時半同船の位置を知らせる電波を出したまま消息を絕ったため十二時四十分救助船として小名濱から縣指導船共盛丸、江名町中の作港から第一劍丸、第八吉長丸が現場へ急行、午後五時四十五分共盛丸と第八吉長丸、續いて同六時十分第一劍丸がそれぞれ現場に到着、乘組員の救助作業に當ったがこの時既に同船は僅か船体を一間位認められた程度で人影は全然なく附近一帶を調査したが遂に十四名の乘組員を發見出來ず波浪が高いため同船は船首が水面と同じ程度までに沈沒し僅かにマストの一部を出しているに過ぎない狀態となつたので午後七時五十分救助作業を一應打切り現場から二隻とも歸途についたがこのため乘組全員は全く絕望視されるに至った

遭難者氏名

▽船長新潟縣北蒲原郡鵜代村次第濱平野丑八（二七）▽漁勞長江名町大字中ノ作川岸四三金成勝利（二七）▽機關長江名町大字長崎字大平田中房義（四三）▽通信士江名町大字風越酒井元次郎（二二）▽甲板員新潟縣北蒲原郡鵜代村大字次第濱川上兵松（一七）同新潟縣北蒲原郡松北村大字村松濱早水寅雄（一九）同新潟縣北蒲郡松塚村大字村松濱倉秀雄（三三）同新潟縣北蒲原郡松塚村大字村松濱會田清一（一八）▽機關士同村字村松濱早水政男（二六）同村字藤北濱樋口進一（二五）同新潟縣佐渡郡金泉村大字姬津間田岩次郎（二二）同新潟縣北蒲原郡松塚村大字村松濱會田寅吉（四六）同村字村松濱山田金二郎（三六）同江名町大字中ノ作字川岸吉田留吉（四八）

波高く處置なかった

救助に出た大坪主任語る

第三太陽丸の救助作業に當った縣指導船共盛丸（二二・八トン）は十五日夜十一時半ごろ小名濱港に歸ったが同船に乘り込んで現場に急行した縣水産試驗場の大坪魚勞主任は「波が高くて處置なしだった」と次の如く語った

共盛丸が現場に着くと先に到着していた救助船第八吉長丸が第三太陽丸の船体を發見、ロープで同船体を支えていた、このときは夕刻の五時四十分ころで第三太陽丸の船首とマストがわずかに見えただけで共盛丸としては珍らしく經驗した位の波浪だったため手のつけようがなくライトを賴りに附近を搜索したがわずかに木片二、三拾ったのみだった間もなく吉長丸か第三太陽丸を支えていたロープも切れて同船は一氣に沈沒してしまった、吉長丸には第三太陽丸の乘組員の身内のものも乘っていたので捜索を續けるべきかどうか相談した結果これ以上は無理だとの結論を得たので歸途についたわけだ

唯一の優秀船

船主同情さる

遭難した第三太陽丸は昭和二十一年十月新潟縣北蒲原郡松塚濱村海洋漁船株式會社で進水した四十四・九四トンディーゼル機關百二十馬力で江名町中ノ作港きっての優秀船で縣カツヲ、マグロ漁業協同組合所屬であった、船主の吉田善好さん方では僚船の第七太陽丸四十四トンも昨年茨城縣大津沖で座礁し、ようやく修理も完成し十五日出漁する豫定だった所へ第三太陽丸遭難の知らせが入ったものでかさねての悲報で非常に同情されている

五次案提示

古河で交渉中

磐炭勞三社共斗の古河好間勞組では十五日午後三時から十六日午前三時まで徹夜交渉の結果、第四次、第五次案が示めされ第五次案は坑內夫四百二十五円、坑外夫二百九十二円（第四次案より二円增）の家族手當四百円（基準內に含む）生能賞與は二十五年十月十二月を基準に百%の際は屯當り三十円、超えた場合は屯當り四百円（三次案三百円に對し頭打ち八百円とする、これに對し組合では、要求額坑內夫五百二十七円、坑外夫三百二十七円を目指し十六日午前十時から團交を續行している、なお隅田川勞組では十五日松本專務歸京と同時に團交を開く豫定だったがまだ歸つてない

坑木の優先拂下

炭鑛界で陳情

心細い手持が僅か十五日分

パルプの需要增加に伴って極度の坑木難にあっている炭鑛界では、東部石炭協會管內では一月末で十五日間の手持ちしかなく心細くなって來ている

東部石炭協會では全國的なこの傾向を憂慮し公有林の拂下げ、民有林の自由競賣に伴って躍進をとげつゝあるパルプ業者の生木の多量買込みが祟っているところからこれを政治的に炭鑛業者の立場を心配した施策をほどこしてもらいたいと去る七日から三日間、長岡專務理事始め常磐、勿來、好間、小田常磐茨城、高萩の各炭鑛代表らが林野廳、資源廳、安本東京、前橋の營林局に陳情「國有林の拂下げの際一般公入札にせず坑木生産業者の指名競走入札にさせるよう」に陳情して來たが二十日ごろに常磐地區の六十%の坑木を出荷している青森營林局に陳情することになった

常磐地區の坑木使用高は戰前の出炭一屯當り〇・二石に對し現在は〇・二五石の使用率を示し、一本五―六千円もする鐵柱の使用は未だ試驗的で常磐、好間、勿來、茨城程度となっている

不動澤炭鑛で三名溺死

坑內に出水、逃げ遲れて

十五日午後二時半ころ內郷町白水佐々木不動澤炭鑛坑內に突如約三百立方の出水があり

佐々木德治氏

發破作業中の保安管理者佐々木德治（三九）採炭先山夫加藤哲（五三）採炭後山夫鹿又忠治（三四）の三名は逃げおくれて濁水にのまれ溺死した出水現場は坑內四番層斜坑引立で舊坑（爲磐城坑）の溜り水が流出したもので平鑛山保安監督部から伊藤保安監督課長、鈴木監督官らが現場に急行、實狀を調査中であるが、この舊坑は今度の降雪でぐっと增水したところに對し內郷町署ではこの係員が「一先進さく孔」といって溜水を調査することを忘れた爲にこの不祥事となったものとみている、なお同炭鑛は月産三百五十屯で復舊には十日間を要するとみられている

一隻故障で漂流中

十四日以來十五日にかけ海上一帶は大荒れで小名濱海上保安部に入った無電によると所屬港不明貨物船金寶丸（一〇〇トン）は十五日夕刻相馬郡原釜町沖合でエンジンに故障を起しSOSを發し小名濱港からは巡視船〃うづら丸〃が出動、又同夕刻相馬郡原釜沖合で相馬郡原釜町鈴木一氏所有第一尾崎丸（二三トン）もエンジンの故障で漂流中であるので〃うづら丸〃は救助に出動したが現場附近は波が相當高いため救助作業は困難をきわめている

遺骨八柱

廿三日交付式

石城地方事務所では二十三日午前十時から同所會議室に遺骨八柱の交付式を執行する

亂暴な傷い軍人

神奈川縣高座郡相模ヶ原病院內傷い軍人吉田勘治（三四）は十五日午前二時ころ醉っぱらって湯本町三函一九四旅館業澤田よしさん方の入口硝子戸三枚を素手で破り現行犯で湯本町署に捕まった

吉田は金比羅神社祭禮にあたり更生資金募集に來ていたもの

就勞要求拒絕さる

內郷町自勞組代表ら交渉

內郷町自由勞組組合長八代一郎氏外三名は十五日午前十時ころ平土木監督所上司所長を訪ずれ先に就勞拒否されていた秋山時雄（二四）渡邊仙一郎（二六）阿久津武雄（二三）鈴本清作（二二）大島清（二二）の五名に對し就勞させろと交渉したが平職安と協議してから返答すると回答、物別れとなった

渡邊は昨年十二月現場人夫頭加瀨光雄（三七）さんに對し暴刀をふるったので現場秩序を亂すものとして就勞拒否されていたもの

湯田課長退官

平稅務署管理課長湯田平雄氏は今回退官、縣南酒類産業協同組合平支部長に就任し十五日挨拶廻りをした

調劑室と試驗室

今月末まで完成か

厚生省令によって總べての藥局は二月末日までに二呎の調劑場と簡單な衛生試驗の出來る設備を造らなければ藥局の許可を取消される事になったので平保健所では管內三十六藥局に對し必ず二月末日までに改造する樣に警告を發した

二人組電線泥

內郷で捕まる

內郷町白水字川平六七土工水木八郎こと朱敦粥（二四）は同番地土工荒木梅吉（二二）と共謀去月十四日午前三時ころ川平坑選炭場からケーブル線三十二貫一万八千円相當を盜み同町白水字入山六五雜貨商三部信雄（四二）に一万一千円で賣却したことが判り十四日內郷町署に捕まった

神社の銅板

屋根剝さる

十四日午前八時ころ內郷町綴字坂宿山中坂宿神社ノ殿屋根の銅板五百匁時價五百円相當が剝されてあるのを發見した少年の仕業らしい

法人税再評價

經理說明會

平法人協會、平稅務署共催の法人稅再評價經理說明會は十五日午前十時から本社ホールに再評價申請者三十名を集めて行った、講師は仙台國稅局經理課長池田直衞氏

天氣予報

十六日

【今晚】北よりの風曇勝ち雪模樣

【明日】北東の風曇勝ち雪模樣おそくなって幾分よくなる、海上沖合はウネリがあるが沿岸はおだやか、强風警報は十六日午前五時解除

二人組の砲金ドロ學る

平市飯田町四七鍛物、商高島義夫（一八）同彌宜町工員大木春男（一七）＝いずれも假名＝の二名は共謀の上十五日夜八時半ころ平市彌宜町地內の常磐炭礦平發電所倉庫から砲金二十八貫、（二万四千円相當）を盜み出そうとした所を折から夜警中の同發電所運搬夫大內源治（四二）さん外三名に發見され高島はその場で捕まって平市署に突き出され逃走した大木も十六日朝七時半ころ平市署に自首した

一本は運休

國鐵ダイヤ

雪のため十五日以來國鐵ダイヤは混亂し十六日に至って車輛の不足で常磐線上り二二四列車（原町―上野行）平着九時五分の一本は運休となった

御存じですか
最高優秀ミシンの販賣店
△三菱ミシン
タイガーミシン
◎蛇の目ミシン
代理店
草野ミシン商會
平市南町 電九六〇

店舖付住宅讓り度し
場所 平市大町廿四米道路側 店舖四坪 八疊四疊
二階八疊本床付炊事場四疊風呂場便所水道瓦斯完備建坪二十二坪 價格面談 仲介斷 委細在社（8）

ポーラ化粧品 藤越

店員募集
男子 二名 十八才より二十才 身体健康の者 保證人を要す通勤及び住込
女子事務員 一名 二十才より二十三才まで 平市內及通勤出來る方
御希望の方は至急御來店下さい給與その他は面談の上
矢野輪業商會
平市才槌小路電一六六

土曜特賣
リンゴ（國光）百匁15圓
ノリ一帳25圓より
新巻一切10圓
藤越食品部

ニュートーゲン
【良イ、量が多くて安い!!】
【良イ、甘い甘い新家庭の樣】
【良イ、砂糖と同じ味 驚いた】
【良イ、一罐で砂糖二貫匁になる】
貴女に當る！
特賞百萬圓
抽籤券は各販賣店で
宣傳用特賣品 賣出し中！
奧樣 御近所の販賣店へ！
各有名食料品店で販賣中
代理店 白土正藏商店
平市古かじ町 電話六九三番

女店員至急入用
十八才より二十二才までの方
給與その他は委細面談の上
市原商店內
平市一丁目角電二四四

19―25日
世界最初の長篇色彩漫畫
ウォルト。ディズニィ製作
大映洋畫部配給
白雪姬 前賣六〇圓 當日八〇圓
前賣好評 枚數に制限があります
賣切れぬうちにお早く!!
才槌小路 タムラ 三丁目 キクヤ
一丁目 金澤屋 四丁目 マルトモ
二丁目 ヤマカ 五丁目 金光堂
世界館

日刊　定價1ヵ月金50円（週1回四頁建）（除月曜）一部（二頁）2円（四頁）2円50錢　（第三種郵便物認可）　いわき民報　夕刊　昭和26年2月17日（土曜日）第1455號

昔（平の思い出）（上）

吉屋貞一

『昔は昔、今は今』とは至極尤もな言葉で『昔は封建、今は民主』というように問屋で卸してもらいたいものだが、さて實際はどんなものか。現代はコントンとして、五里霧中の感あり、未來は夢の世界だとせば、過去だけは確實なものだろうかと云えば、なかなか左樣に簡單には參らぬ、考古學的の存在は云わずもがな、少し古い歴史となれば、先ず小説に毛の生えたようなものかも知れない。人類が出現して三十萬年ばかりと概算しても、大体見當のつくのは四、五千年以內に過ぎないであろう。

人間も老ゆれば、若い時のことはまぼろしの裡に消えやすく、その記憶も石灰質の中に沈澱しがちである。『元日や神代のことも思わるゝ』という古い句の時代ばなれは既に魅力を失っているけれど、舊の正月を迎えて平の昔を忍ぶも興なきにあらずと思い出ずるに任かせて筆をすすめてみよう。昔と云っても三十餘年前在りし日に過ぎないが、十年を一昔とせば先ず昔の昔また其昔というわけである。

その頃の平は町は少さくとも發展の底力はあったらしい町役場は今の清水醫院のところで伊坂町長。郡役所は田町並木通りで停車場近くの線路側にあって、斎沼郡長、住吉屋食堂のところに當時は町に唯一つ出來た映畫館として有樂座は珍らしがられ、辯士や樂師達も大もての噂があったある晩のこと、住吉屋支店の番頭君が來ての話に、無錢で世界旅行の英國人が宿ったのですが、自分の寫眞入り繪ハガキを賣って旅費を出すのだそうで有聲座あたりで賣らしたらと思いますが、言葉も通じないから困りました、何んとか來て世話してほしいとの依頼があった。私が少しばかり英語が解ったからであろう

物好きに出かけて見たところ、年の頃は二十四、五才の青年外人であったが、とにかく座に出向いた。その日は映畫が休みで東京で有名な竹本小土佐という娘義太夫の一行が大入滿員の盛況であったから、先ず二人で腰かけて見物といっては恐縮ながら、私もあまり趣味がないけれども、外人はなおわからなかったことと思うが、何か美人の品定めをしていたようだ。呑氣な冒險家もあったものだと微笑を洩したのである。一寸幕になったので二人で舞台にならんで白人青年を紹介したところ、忽ち繪ハガキが賣れて喜ばれたこともあった。

その頃から街は東西にのびて、平、磐城の兩銀行が中央に近く鎭座していた。井上茂作氏とか佐藤庄太郎氏など町の世話人格で、鈴木市長は多分郡會に伊藤淺之助氏などと議席があったようで、諸橋久太郎氏は早稲田大學の學帽をかぶり始めて、山崎與三郎氏は豫備少尉の軍服姿を時たま見かけたが、同氏は青年會の指導者として奉仕し平圖書館なども青年達の盡力で出現した。先頃一寸同氏と青年會の活動に就いて話を交したところ、『青年の指導者は青年の中から出なければならぬ』といわれたのは至言であると思う。

藤越デパートあたりと思うが、平陽裁縫女學校があって藤田裁縫女學校も田町の一角にあった。お城山には祐賢學舍が大和田先生に依って經營せられ、青年子弟の教育に獨特の地位を占めていたが、先生は大の讀書家で借金を質に置いても本が欲しいくらいで圖書館ほどの藏書があったそうである。これ等の私立學園が解消したことは時勢とはいえ惜しい氣がする。

中學校は校長植竹源太郎氏で髭だけはスターリン式でも何となく古武士の風格があった。退職してからは舊城跡に居をかまえ、油繪を畫いて餘生を送り、勿來海岸は好んで行かれ、作品はときどき拝見した。奥さんは山田流上原直傳の琴曲が達者で弟子も多いと聞いた。植竹氏の後任であった西村岸太郎氏は俳人で理學士、洒落な人柄であったが晩年の東京生活は不遇だったそうで、或る卒業生が舊師を見舞って時に大變に喜ばれ、尺八を吹いて奥さんが琴をひいて接待されたと傳えられる

漁業振興策決議

優勝旗授與や優秀者表彰

漁協組役員大會

縣漁業協同組合役員大會は十五日正午から平市公會堂に縣下各地から集った約三百五十名の關係者が參集して開いた、先ず三代漁連副會長の開會の辭に始まり鈴木漁連會長の式辭、知事（代理渡邊民政部長）の告辭があって議事に入り鈴木漁連會長を座長に推薦

△小名濱水産高等學校の後援會について（小名濱漁業協組提出）△水産業協同組合が經營する製氷冷凍工場に對してはその設備能力の全部を發揮するに足るだけの電力を優先割當られる樣その筋に陳情する（縣漁連提出）△さきに漁業協同組合後連絡して縣に陳情した本縣沿岸增殖事業並に製氷冷凍施設の擴充强化についてこれが實現方をその筋へ要望する（小名濱漁業協組提出）△本縣水産行政機構については他縣との振合を勘案し水産振興縣に即應する樣機構の擴充をその筋へ要望する（江名漁業協組提出）△漁船表彰に關し各業種最高優秀漁船については特に縣知事の表彰並に優勝旗の授與を要望する（縣鰹鮪漁業協組提出）△國稅及地方稅の納付期につきその筋へ要望する（縣鰹鮪漁業協組提出）

を審議何れも滿場一致で可決別項表彰者に對する表彰狀並に優勝旗をそれぞれ鈴木漁連會長から授與、星、小野（義）大井川三縣議と丹野宮城縣漁連會長（高木同漁連事業第二部長代理）の四氏が來賓を代表して祝辭をのべ佐藤良江氏（江名町）から答辭あって會を閉じた被表彰者次の通り

受賞者氏名

◉旋網漁業關係　△優勝旗　不動丸（四倉）△最優秀　大勝丸（小名濱）三代義勝　共榮丸（同）伊藤房儀△個人表彰（漁勞長機關長）佐藤慶之助（四倉）小野寅吉（小名濱）柳內希明（同）稻崎政吉（同）松本眞佐一（同）△漁業功勞者　伊藤房儀（小名濱）柳築平太郎（同）相川幸太郎（同）

◉底曳漁業關係　△優勝旗　第二辰巳丸（江名）佐藤良江△最優秀　第二寶丸（同）中田芳男　第二東洋丸（同）佐藤義勝　第五金榮丸（中ノ作）吉田義勝　第三開運丸（同）金成恒男　第六大成丸（同）大貞造　第三觀音丸（小名濱）齊藤誠吾　彌生丸（四倉）吉田彌重郎　龜鶴丸（同）田中龜男　第三三好丸（久ノ濱）高木好之助　寶勝丸（中村）菊地磊一　△個人表彰（漁勞機關長）渡邊由藏（小名濱）額賀留藏（四倉）上野台茂次郎（小名濱）綠修二（同）北見嘉一（四倉）田中辰二郎（同）高木末吉（久ノ濱）齊藤浩（中村）佐藤鐵藏（同）吉田嘉代松（中ノ作）吉田仁（同）吉田義平（同）坂本龜吉（江名）鈴木新一（同）坂本政吉（同）金成龜吉（同）飛田鈴太郎（同）吉田恒一郎（同）四家政義（豐間）△漁業功勞者　永山辰之助（小名濱）田澤留[illegible]郎（同）星久雄（中村）長谷川酉次郎（四倉）鈴木賢二（同）坂本義信（江名）吉田豐吉（中ノ作）大貞造（同）

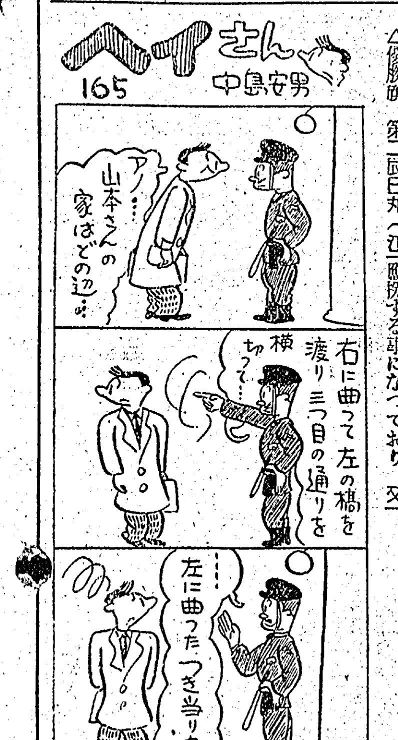
◉鰹鮪漁業關係　△優勝旗　第五日光丸（江名）金成德治△最優秀　第二榮福丸（江名）澤助一　菊盛丸（同）瀬口俊夫　靜和丸（小名濱）野崎貞行△個人表彰（漁勞長、伊藤三次（江名）橋本幸太郎（同）佐野吉五郎（同）△漁業功勞者　坂本嘉代松（江名）野崎貞行（小名濱）菊地俊光（同）

◉小型漁船關係　中橋仁助（八澤）菅野幸吉（北泉）東胞五郎（新地）鈴木常七（久ノ濱）寺島治雄（磯部）濱田政衛（大龜南）遠藤幸（大龜北）橋本新之助（豐間）永野秀松（小高）叶谷力助（請戸）三瓶一見（富熊）遠藤銀吾（沼ノ内）伊藤長助（四倉）白土常吉（小名濱）志賀正夫（同）飛田寅吉（同）菊地五三男（中村）△傳馬漁船　寺澤太衛門（八澤）阿部三義（鳥崎）小松幸太郎（豐間）小松戌（豐間）平田平松（小高）關根八己（富熊）小野田利助（福浦）吾田彌十郎（四倉）小野松十郎（小名濱）渡邊田之助（同）笹川丈助（劍濱）高橋今朝夫（中村）△漁業功勞者　中橋卯之七（八澤）小野政見（眞野川）鈴木厚（北泉）櫻田義房（下濱佐）寺島鐵男（新地）寺島藤吉（磯部）島卓藏（磯部）杉長五郎（鳥崎）松本茂吾（大龜南）鈴木清八郎（大龜北）遠藤惣五郎（豐間）今野由造（小高）鎌田喜八（同）門馬嘉吉（請戸）關根市己（富熊）寺島春受（福浦村上）渡部安（福浦）相浦長治（福浦）大平多十郎（沼ノ内）佐藤慶之助（四倉）豐田丑治（植田）柳內豐（小名濱）熊野惠三（同）菊地力松（中村）菅野硼（同）坂本甚五郎（江名）

木炭品評會

十八日田人村で開く

田人村では植田管內の薪炭業者を網羅した大規模な木炭品評會を來る十八日から三日間同村小學校に於て開催することになった、會長は村長澤田源次氏で特に植田町營林署が應援する事になっており、又審查長には中地方事務所林務課長が推され二十日賞狀授與式が行われる、尙終って元林野廳官現參議院三浦辰雄氏（會津出身）の林業に關する講演會が開かれる


ヘイさん
165
中島安男
アノ…山本さんの家はどの辺…？
右に曲って左の橋を渡り三つ目の通りを横切って…
…左に曲ったつき当りを…
すみませんが…書いてくれませんか

母子援護金

目標を突破

母子援護資金獲得運動のため二日から行った平市の街頭募金は十五日で締切ったがその結果目標の二万円に對し三千八百三十二円五十錢を超過降雪の街角にも氣なげに立働いた平むつみ會員の行爲が一般から感謝されている

植田營林署

電線泥擧る

少年四人組

川部村字小川關部炭鑛社宅無職秋元某（一七）木村某（一六）小山某（一六）川部中學二年生吉川某（一四）の四名は共謀の上昨年八月下旬から三回に亘って川部村地內の植田營林署所有の電話線四百七十六米（四千八百円相當）を盜み勿來町白米古物商東三九郎（五八）に賣却したほか一月から二月の間四回にわたり勿來町白米旭炭鑛卷場から砲金、眞鍮など機械部分品（二万二千二百円相當）を盜み川部村三澤古物商高橋登久（五二）に賣却し十五日いずれも窃盜容疑で勿來町署に檢擧されたまた東高橋の二名も贓物故買の容疑で同日檢擧された

JOCP ラジオ JOHQ

【17日】ローカル　郡山放送

前六、三〇　稲まく人『田植えについて』縣農試技師齊藤昌已
前七、一五　縣民の聲
前一〇、一〇　學校放送『合唱』郡山女高コーラス部
後六、三〇　土曜劇場『常磐津三保松富士曙』常磐津三喜藏

味は格別
名物　まんぢゅう
平二丁目　中央通

第一回田人村木炭品評會

製炭事業の合理化と優良木炭の產出を目的とする植田地區管內の薪炭業者を網羅せる畫期的木炭品評會を開催する

日時　二月十八日　十九日　二十日（三日間）
會場　田人村小學校
審查長　石城地方事務所林務課長
賞狀授與式　二月二十日

林業講演會
賞狀授與式終了後
講師　參議院議員　三浦辰雄先生
多數の聽講を歡迎致します

田人村木炭品評會會長　澤田源次
植田營林署長　弓納持雄充
田人村農業協同組合長　蛭田源錄
田人村木炭部會長　〔〕田勇
植田薪炭連合會長　綠川喜澄
田人森林組合專務理事　國部博康
薪炭業者　渡邊重三郎
同　西山繁三
同　西山昌延
同　根本泰三
同　根本眞一
同　酒井もよ
同　平子作太郎

★御名入も御引受け致します
セトモノの御用は
平市一丁目　電229
武田セトモノ店

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話　一二九番

綿とふとん
（キ）スズキ
御註文に應じ迅速御調製いたします
平市新川町電四二二
工場平市正月町五五

整形外科
外科
內科
金成醫院
金成桂一
平市鎌田町二二電八二六番

時計は
記念品
贈答品　に好適
卒業記念お名入
お引受致します
正確　安い
誠光堂
修理は迅速丁寧
平市銀座電988

ホーム石鹸　代理店
サンキュー佐々木商店
平市かじ町電呼五〇二

虫下し
優秀な虫下しを飲んで蛔虫を完全に驅除しましよう
藥の御相談には
★電話讓りうけたし
武田藥局
平市[illegible]

ウマイと評判
カキフライ
ナミキドウリ
ブラジル

（入院隨意）
產科
婦人科
中田醫院
中田三郎
平市材木町二四（聚樂館附近）
電話　一〇九七番